

この度は、Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。本書はレディストワークランプの取扱い、及び取付け作業について記載してあります。取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。本要領書に記載されている分解方法、イラスト(画像)、及び作業方法はあくまでも一例です。車両ごとに脱着方法、取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備書等をご確認の上車両に適した手順で作業を行って下さい。また、本書はなくさないよう大切に保管して下さい。

### 取付けご担当様へお願い

本書記載の内容・注意事項をよく読み正しくお使い下さい。本書に記載されていない取付け方法は行わないで下さい。また、内容・注意事項をお客様にご確認いただいた上で作業を行うようにして下さい。

### お客様へお願い

本書とご購入時の販売証明書(品名や品番が記載されたレシートや領収書)は大切に保管しておいて下さい。販売証明書の提示がない場合は、保証修理・交換ができません。

### 安全に関する表示

この説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

**警告**、**注意**、**注記**、**アドバイス**のところは、とくにしっかりお読み下さい。

<b>警告</b>	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です	<b>注記</b>	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
<b>注意</b>	取付け・取扱い方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。	<b>アドバイス</b>	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

### 適合車種

### ルークス

### BB1A, BB2A, BB5A, BB6A 型

## 推奨準備工具



### 取付準備作業

1. 取付け作業は、安全な場所に車を駐車させ、パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2. 取付け作業は、必ずエンジンを停止して行って下さい。
3. 取付け作業の前に、必ずバッテリーの(－)側コードを外して下さい。また(－)側コードは(＋)側コードと接触しないようにして下さい。
4. 構成部品及び部品数量が取付要領書通りになっているか、また製品が正常に機能するかを確認して下さい。
5. オーディオ等の設定をメモしておくと、後の調整がスムーズに行えます。

### 取扱い方法

本製品に付いた汚れは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、水拭きにて仕上げて下さい。長時間放置すると、汚れが取れにくくなったり、樹脂部品の劣化の原因になります。本製品に強い衝撃を与えないで下さい。故障や破損の原因となります。

### 注記

- ・ワークランプ取付け位置については、弊社で取付け確認した位置となります。
- ・車両によってキーレスエントリー等のアンサーバック時、ルームランプと同様に点灯しますが異常ではありません。
- ・本製品はLEDのため、消灯時に車両によっては残照機能により、点滅することがありますが異常ではありません。

# ワークランプ配策イメージ

## 構成部品

NO.	部品名称	数量
①	電源取り出しバルブ	1
②	中間ハーネス	1
③	灯体本体	1
④	クッションテープ	1
⑤	面ファスナー	1
⑥	化粧シール	1
⑦	製品保証書	1
⑧	動作説明書	1

## ワークランプ配策イメージ



クッションテープ

クリップ取外し位置

# 目次

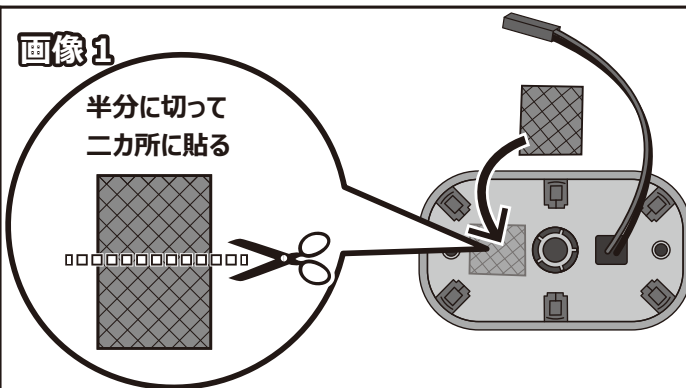
1. 準備作業	．．．．．	4P
2. 車両部品取り外し	．．．．．	5P
3. 車両部品加工	．．．．．	6P
4. エッジ処理	．．．．．	7P
5. 電源取出しバルブ取付け～ハーネス配策	．	8P
6. ランプ組付け	．．．．．	11P
7. ハーネス処理	．．．．．	12P
8. 動作チェック・車両復元	．．．．．	13P

# 準備作業

## ①面ファスナーをカットし、灯体本体裏に貼る

付属の面ファスナーを半分に切り、  
画像 1 を参考に、灯体本体の空いている場所に貼ります。

画像 1



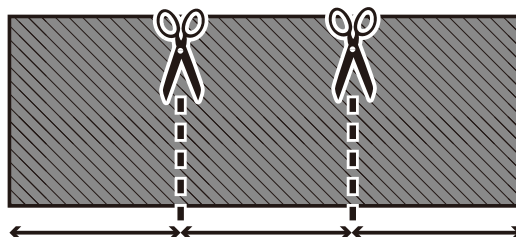
## ②クッションテープをカットする

画像 2 を参考に、クッションテープを 3 等分して下さい。

クッションテープ 合計 3 枚

画像 2

クッションテープ 3 等分する



## ③灯体本体のレンズ取外し

灯体本体の裏側、画像 3 の○印部分を、  
画像 3-2 のように精密ドライバー等で  
押し込むとレンズが外れます。

画像 3



画像 3-2



# 車両部品取外し

## ④ラゲッジランプユニットを外す

画像 4 のラゲッジランプユニットを  
車両整備書に基づいて取外します。

画像 4



画像 4-2



レンズを外し、画像 4-2 のラゲッジランプユニット本体を  
外して下さい。

画像 4-3



ラゲッジランプユニットを外したら、電球を外して下さい。

## ⑤ウェザーストリップを外す

ウェザーストリップを外します。

ウェザーストリップを外す際、  
ルーフライニングが汚れる懸念がある場合は  
画像 5 《黄色斜線部分》のように  
ウェザーストリップが接しているルーフライニング部分に  
養生テープ等を貼り、  
汚れ等が付着しないように保護して下さい。

画像 5




画像 5-2





# 車両部品加工

## ⑥クリップを取外す

前頁の配策イメージ図  印部分を参考に  
2箇所クリップを樹脂製のクリップリムーバー等を使用して  
取外して下さい。  
ルーファイニングを傷付けないよう、  
当て板などで保護しながら作業して下さい。

画像6



## ⑦ハーネス逃がし加工

取外し後に、ワークランプの取付け位置にある  
**1箇所**のルーファイニングクリップ穴に、カッター等を使って  
「切り込み」を入れます。

画像7を参考に、**運転席側へ向かって  
車両横方向**に切り込みを入れます。

**×** 印のクリップ穴は絶対に切らないで下さい。

この切り込みは配線を逃すの為なので、  
画像7-2を参考にクリップ穴より15～20mm程度を  
運転席側に向かって車両横方向に切って下さい。

### 注 記

切り込みを入れる方向・長さをしっかり確認してから  
作業を行って下さい。

画像7




画像7-2



# エッジ処理

## ⑧エッジの保護

ラゲッジランプユニットを外した箇所に、  
画像 8  印の場所に 40mm-50mmの長さの養生テープを貼り、エッジが出ないように保護します。

### 注 記

配線等が当たると、傷つける恐れがあるので  
必ず行って下さい。

画像 8



# 電源取出しバルブ取付け～ハーネス配策

## ⑨電源取出しバルブをラゲッジランプユニットに取付け

電源取出しバルブの配線は画像 9 矢印を参考に  
配線を入れて取付けして下さい。

画像 9-2 を参考に  
電源取出しバルブの発光面が正面を向くように取付けます。  
この時配線が下向きになっていることを  
確認して下さい。

画像 9-3 を参考にラゲッジランプユニットを一度復元して  
点灯確認を行って下さい。

**点灯しない場合は、  
バルブの極性を入れ替えて下さい。**

点灯確認ができれば、再度ラゲッジランプユニットを取り外します

画像 9



画像 9-2

車両取付け時正位置

配線の向き



画像 9-3





#### ⑩ラゲッジランプユニットへ中間ハーネスを配策

画像 10、10-2 を参考に、配線ガイドを車両後方からラゲッジランプ取付け穴に向かって通します。

配線ガイドの車両後方側に

**中間ハーネスのメス側**を外れないよう養生テープなどで仮固定し、ラゲッジランプ取付穴まで引き出してください。

この時、中間ハーネスを引き出しすぎないように画像 10-3 を参考にして下さい。

#### 注 記

この時、画像 10-2 〇印部分のようにルーフライニングとルーフパネルの間から配線ガイドが出るようにして下さい。

画像 10-4 のように、ルーフパネルの外側から出ないように注意して下さい。

画像 10



画像 10-2



画像 10-3




画像 10-4



### ⑪ラゲッジランプユニットに中間ハーネスを接続

画像 11 を参考に、電源取出しバルブに  
中間ハーネスを接続します。  
接続するコネクタはどちらでもかまいません。

接続しない側の電源取出しバルブコネクタは  
画像 11-2 を参考にビニールテープなどで保護して下さい。

画像 11-3  印部分を参考に、  
2 つのコネクタをまとめて束ね、  
本書 3P 手順①でカットしたクッションテープをしっかりと巻きつけます。

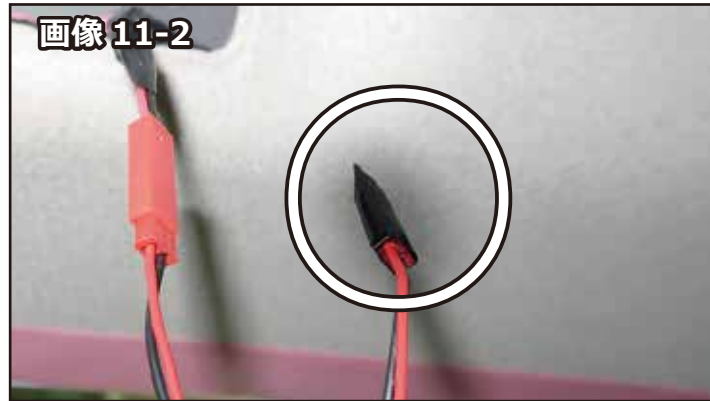
#### 注 記

これらの処理は必ず行って下さい。  
また、ビニールテープやクッションテープが剥がれたり  
抜けないようしっかりと巻きつけて下さい。

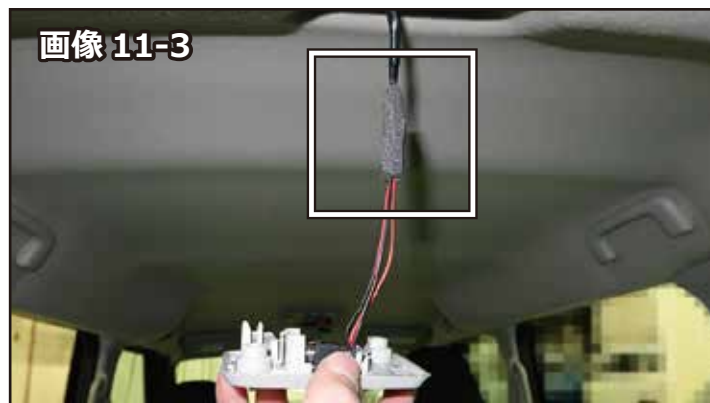
画像 11



画像 11-2



画像 11-3



画像 12



画像 12-2



### ⑫ラゲッジランプユニットの復元

画像 12 を参考に、配線が内側でたるまないよう  
前 P 画像 10 の箇所から配線を外に引き出しながら  
ルーフパネルとルーフライニングの間に入れ込み、  
ラゲッジランプユニットを復元します。  
この時に画像 12-2 を参考に、  
**電源取出しバルブが正面を向く**ように取付けて下さい。

#### 注 記

クッションテープの部分が引き出しにくい場合がありますが、  
無理に引っ張ったりしないで下さい。断線やクッションテープが  
剥がれる原因になります。  
また、配線を引っ張りすぎると、LED バルブの向きが  
傾いてしまうため、極端に引っ張らないで下さい

# ランプ組付け

## ⑬ 灯体本体をルーファイニングに固定する

画像 13 を参考に灯体本体のハーネスを「①クリップ穴」からルーファイニング内部へ差し込みます。「①クリップ穴」と「②灯体本体の中心」を合わせるように位置調整しながら、灯体本体のハーネスを引き出して灯体本体をルーファイニングに密着させます。

この時、本書 6P 手順 7 でカットしたクリップ穴のスリットに灯体本体ハーネスの根元を挟む（画像 13-2 ㉔印部分）ようにして下さい。

### 注 記

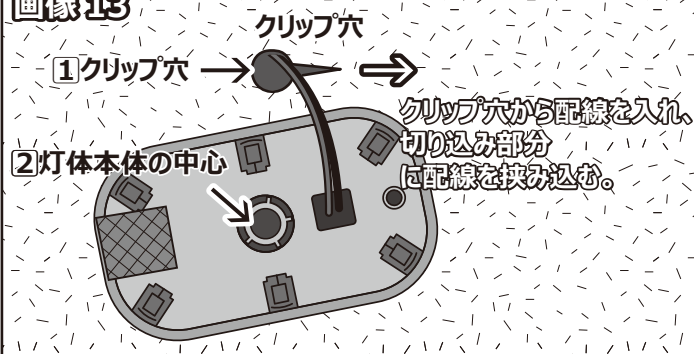
ハーネスを強く引っ張ると断線等の原因になりますので適切な箇所を持って引き出して下さい。

画像 13-3 を参考に、面ファスナーが密着するようにしっかりとルーファイニングに押し付けます。

### 注 記

基板に直接触らないように注意して下さい。

画像 13



画像 13-2



画像 13-3



# ハーネス処理

## ⑭ 灯体本体と中間ハーネスの接続

画像 14 を参考に

灯体本体と中間ハーネスのコネクタを接続します。

接続を終えたら 1 度灯体本体の点灯チェックをして下さい。

画像 14-2 〇印の部分参考に、  
灯体本体の配線と中間ハーネスの接続部コネクタに  
2 枚目のクッションテープを貼り付けます。  
この時剥がれたりしないようにしっかり巻きつけて下さい。

画像 14-2 〇印部分と同じように配線をまとめ、  
剥がれたりしないように 3 枚目のクッションテープを使って  
しっかり巻きつけて下さい

ルーフライニングから出ている配線をまとめたら、

画像 14-3 赤線の箇所の

ボディとルーフライニングの隙間に収めます。

パネルとライニングの間に隙があるので、

余長とコネクタが十分格納できます。

画像 14-4 を参考に配策し、画像 14-3 赤線の箇所に  
まとめた配線を収めて下さい。

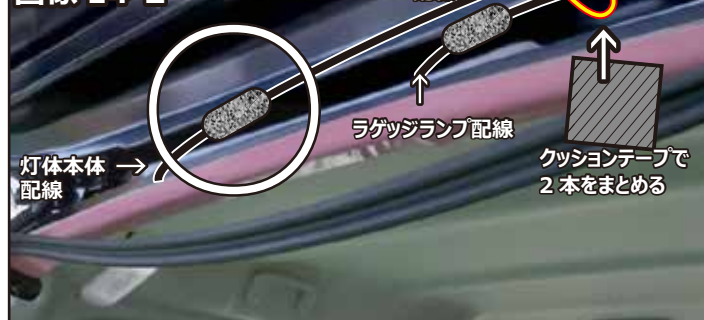
### 注 記

LED バルブの角度が曲がってしまうため、  
ラゲッジランプ側の配線を引っ張りすぎないよう  
注意して下さい。

画像 14



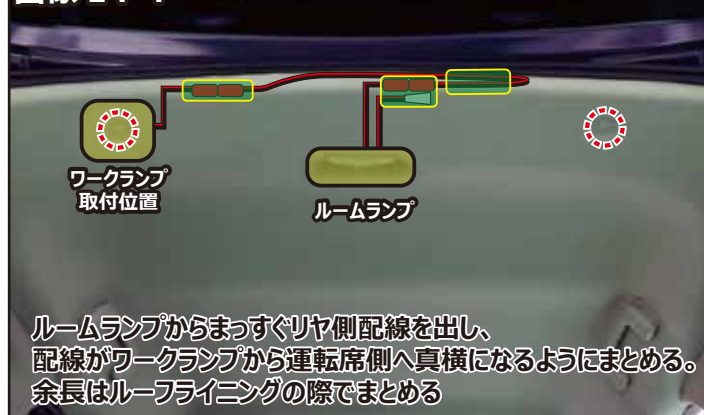
画像 14-2



画像 14-3



画像 14-4





# 動作チェック・車両復元

## ⑮クリップで固定

付属のルーファイニング固定用クリップで灯体本体を固定します。画像 15、矢印の指し示す灯体本体の中心部分にクリップを差し込み、固定して下さい。

### ⚠ 注意

クリップ固定の際に、切り込みに差し込んだハーネスをクリップ固定部に挟み込まないようにして下さい。

**基板ユニットには触れないようにして下さい。**  
破損の原因になります。

画像 15



画像 16



## ⑯レンズを装着

画像 16 を参考にラゲッジランプユニットにレンズを装着します。

ワークランプレンズを装着します。

画像 16-2 の○印部分にあるハウジングの切り欠きに合わせて押し込み、固定して下さい。

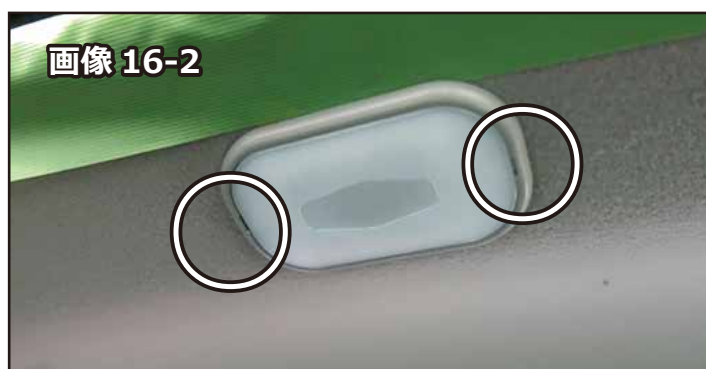
### 👉 アドバイス

この時  
画像 16-3 を  
参考に文字の向きを  
合わせ付属の  
化粧シールを  
貼付けて下さい。

画像 16-3



画像 16-2



画像 17

## ⑰動作チェックと復元

画像 17 の図を参考に動作確認を行って下さい。

また、車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認します。

ワークランプはルームランプに連動し点消灯します。

また、レンズを軽く押すと点灯 / 消灯できます。

取外したウェザーストリップ・車両部品等をすべて復元します。

灯体本体の点灯および動作チェックをして下さい。

車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認します。

### 👉 アドバイス

画像 17 ○印部分は新しいクリップを使用して下さい。

ラゲッジランプ	ワークランプ	ワークランプスイッチ
点灯	点灯	点灯 / 消灯
消灯	消灯	-

画像 17-2

